

卒業論文用 T_EX ディレクトリ

Author: Mizukoshi Keita

Usage

仕組みがよくわかっていない人は

`$make` または `b.sh` を実行

最新の方法

ターミナルで `$latexmk thesis`

入っていればこっちが楽。

Attention

なぜか pdf が回転する問題には `$pdfcorp problem.pdf` を実行して生成したファイルを使う。

tex のソースファイルは `tex/` 以下において `input` 命令で `thesis` 以下に置く。

参考文献は `bib` に読める形式で `reference.bib` に入れる。

画像は `img,fig` とかに置く。本当はかぶらないように人ごとにディレクトリ分けるべきだけど, そんなに干渉問題が起こらないと信じてテキトーに入れる。

`_latexmkrc` はアンダースコアをドットに変えてホームディレクトリに置いて実行する。

構成

担当は仮. 実験装置の説明を水越と井口のどちらでした方がわかりやすいか考える。

1. 表紙, 諸目次

作成済み

1. 概要

filename:abstract.tex

1. 序論 (担当:宮辺)

filename:introduction.tex

1. 実験理論 (担当:宮辺)

filename:theory.tex

1. 実験装置とモンテカルロシミュレーションにおける評価 (担当:水越)

filename:simulation.tex

1. 磁場中の光電子増倍管の評価 (担当:井口)

filename:pmt.tex

1. ポジトロニウムの崩壊事象の選別と結果 (担当:磯部)

filename:result.tex

1. まとめと今後の課題 (担当:水越)

filename:prospect.tex